

登録販売者試験対策講座

【第3章－4】

主な医薬品とその作用

株式会社 東京マキア



衛生害虫

※巻末にこちらの「衛生害虫」の表があります。33

	媒介する病原体	特記事項	防除
ハエ	O-157、赤痢アメーバなど	・幼虫をウジと呼ぶ 	・ウジの防除が基本となる ・ウジの防除法：通常、有機リン系殺虫成分が配合された殺虫剤が用いられる ・ウジ・ボウフラの防除：毒性の問題から、有機塙素系の中ではオルトリクロベンゼンのみ使用されている
蚊	日本脳炎、マラリア、黄熱、デング熱など	・幼虫をボウフラと呼ぶ 	・ボウフラの防除：水系殺虫剤を投入する ・成虫の防除：医薬部外品の殺虫剤（蚊取り線香、エゾール等）を使用 ・蚊取り線香：線香にピレスロイド系成分が練り込まれている ・虫よけスプレー：ディートを含むものが多い

衛生害虫

34

ゴキブリ	・サルモネラ菌、ブドウ球菌、O-157大腸菌など ・アメバ赤痢等の中間宿主		・燻蒸処理：3週間位後にもう一度燻蒸処理を行い、孵化した幼虫を駆除する →ゴキブリの卵は医薬品の成分が浸透しない殻で覆われており殺虫効果を示さないため
シラミ	リケッチャ（日本紅斑熱や発疹チフス等の病原細菌）など		・吸血箇所に激しい痒み ・フェノトリン配合のシャンプーやてんか粉が用いられる ・フェノトリンは殺虫成分で唯一人体に直接適用される →シラミの刺咬による痒みや腫れ等の症状を和らげる作用はない
トコジラミ	ベスト、再帰熱、発疹チフスなど		・シラミの一種でなくカムムシ目に属する ・別名ナガキンムシ ・刺されると激しい痒痛

駆虫成分（ゴロ合わせ）

35

三回忌でマジ感動

サントニン 回虫 黄 肝臓 運動

シビれまくりで買いまくり

痙攣 マクリ カイニン酸

業界人は頭が麻痺

蟻虫・回虫 ピペラジン アセチルコリン 運動麻痺

パパもギョッとして酒が日増しに増える

パモ 蟻虫 アルコール ヒマシ油 吸収が増える



登録販売者試験対策講座

【第3章－5】

主な医薬品とその作用

株式会社 東京マキア



コレステロール

37

- 生体に不可欠な物質で細胞の構成成分。
- 胆汁酸や副腎皮質ホルモン等の生理活性物質の产生に重要な物質。
- 產生、代謝は主として肝臓で行われる。
- 水に溶けにくいので血液中ではリポタンパク質として存在する。
- コレステロールが増えすぎると血管に蓄積し動脈硬化を引き起こすリスクが高まる。



リポタンパク質

38

脂質とタンパク質からできており、両者の割合によって色々な種類がある。いくつか種類があり、中でも重要なものは、低密度リポタンパク質（LDL）と高密度リポタンパク質（HDL）である。

リポ + タンパク質

脂質（ギリシャ語でリポ=脂質）



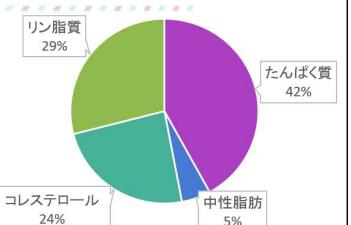
合わせて
リポタンパク質
と呼ぶ

LDLとHDLの違い

39



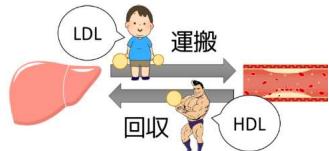
LDL (Low density lipoprotein)
低比重リポタンパク
別名、悪玉コレステロール。
たんぱく質の割合が低く脂質が多い



HDL (High density lipoprotein)
高比重リポタンパク
別名、善玉コレステロール。
たんぱく質の割合が高く脂質が少ない

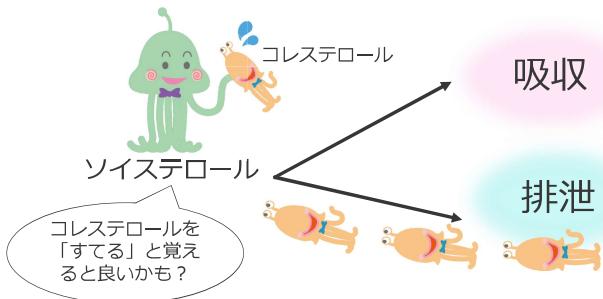
40 LDLコレステロールとHDLコレステロールの違い

- LDL : コレステロールを肝臓から末梢組織へと運ぶ
- HDL : 末梢組織のコレステロールを取り込んで肝臓へと運ぶ



41 大豆油不けん化物（ソイステロール）

腸管におけるコレステロールの吸収を抑える働きがあるとされる。



42 パンテチン

LDL等の異化排泄促進と
リポタンパクリパーゼ活性を高め
てHDL産生を高める作用があるとされる



42 リノール酸 ポリエンホスファチジルコリン

コレステロールと結合
→コレステロールエステルを形成
→肝臓のコレステロールの代謝を促す
効果を期待して使用



43 滋養強壮保健薬

滋養強壮保健薬にアミノ酸が入っているのはなぜ？

アミノ酸はたんぱく質の構成成分である。

→人間の大部分（筋肉や組織、血液など）はたんぱく質でできている

→アミノ酸が不足すると体を正常に保つことができなくなる



システィン

- 髪や爪、肌などに存在するアミノ酸の一種。
- 皮膚におけるメラニンの生成抑制・排出促進
- 肝臓におけるアルコール分解酵素の働きを助け、アセトアルデヒドと直接反応して代謝を促す働きがあるとされる。

アミノエチルスルホン酸（タウリン）

- 筋肉や脳、心臓など体のあらゆる部分に存在し細胞機能を正常に働かせている。
- 肝機能改善作用があるとされる。

44 滋養強壮保健薬



その他の成分について

- ヘスペリジン：みかんの皮の白い筋にたくさん含まれる成分。ビタミンCの吸収を助ける。
「へっ、すっぺえ～！」
- グルクロノラクトン：肝血流を上げて肝の働きを助ける。
「グルっと観光に行こう」
- ガンマオリザノール：米ぬかや米油に含まれる。オリザは「イネ属」という意味。米ぬかと同じく抗酸化作用があるので、ビタミンEと組み合わせることが多い。
「ガンマン 良い 弾こめたが 降参か？」

45 禁煙補助成分（ニコチン置換療法）

咀嚼剤（指定第2類）：ニコレットガム→口腔粘膜から吸収

貼付剤（第1類）：ニコチネルパッチ→1日1回貼付する経皮吸収型

- ニコチンの効能：交感神経興奮作用があり。交感神経刺激薬との併用注意。
- 咀嚼剤は菓子のガムのように噛まずゆっくりり断続的に噛む。ニコチンが唾液とともに飲み込まれてしまう。吐きけや腹痛等の副作用が現れやすくなる。
- うつ病の既往歴のある人は注意
禁煙時の離脱症状でうつ症状悪化のリスク。心臓や脳疾患のある人も注意。
- 飲料との飲み合わせ
コーヒーと炭酸を飲んで口腔内が酸性になるとニコチンの吸収が低下する。
- 治療期間
咀嚼剤：使用期間は3か月を目途とし、6か月を越えない。
貼付剤：計8週間・2ステップが使用の基準。